

# SSH だより



5月号 2019年5月22日(火) 豊田西高校 SS委員会

## 委員長・副委員長の紹介

委員長：2年9組

SSHでは、先進的な理数教育の実施や、国際性を育む取り組みの推進、創造性を高める指導方法、教材の開発などに力を入れています。そのため、僕たちは「SSH人生講演会」や「SSH成果発表会」、他にも様々なSSH事業に参加できる機会が与えられています。僕たちSS委員はそんな貴重な機会があることを皆さんに伝え、創造することや、研究することの楽しさを感じてもらえるように頑張ります。一緒にSSH事業を盛り上げていきましょう。

副委員長：2年1組

SS委員会副委員長です。皆さんは普段、豊田西高校がSSHであることを実感として持つことは少ないかもしれません。特に文系の方は、科学を身近に感じることも多くないのではないのでしょうか。しかし、SSH事業などに積極的に参加することで、科学技術をより身近に感じることができます。私たちSS委員は、皆さんが、科学の魅力に気づく一助となれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

## 化学室入口に科学系の本置いてます！

おすすめ



化学室前廊下、化学室内の本棚に課題研究に使えるような本がたくさんあります。興味のある人は、ぜひ見に来てください。

向き合う中で生み出された大発明。「ガラス」「冷たさ」「音」「清潔」「時間」「光」……6つの発明が当たり前になるまでに、どれだけの苦労と奇跡があったのか。文明を変えた斬新奇抜な発明物語。

## 今月の科学！

### 史上初！！ブラックホール撮影成功

4月10日に日本などの国際チームは、地球から遠く離れた銀河の中心にある超巨大ブラックホールの輪郭を撮影することを史上初めて成功したと、世界六カ国で同時に会見を開いた。

今まではブラックホールに吸い込まれるガスなどが出すエックス線を観測した例があるが、光さえも逃れられない「黒い穴」を捉えることはなかった。また、専門家は「謎が多い性質の解明につながるノーベル賞級の成果だ」と評価している。

ブラックホールは遠くにあるため、周辺のガスを観測しても小さな点にしかならない。さらにその中にある黒い姿を観測するため、世界各地の電波望遠鏡が協力し極めて高い解像度を実現した。今回用いた電波望遠鏡は世界のさまざまな場所にある望遠鏡を電波でつなぎ、幅広く電波を捉えることで、仮想的に地球の直系に近い一万キロの口径の望遠鏡を構成した。この技術が今後の天文学に良い影響を与える可能性は十分にある。

今回の成果からブラックホールの性質や正確な質量を知ることができるだろうと研究者は期待を示している。また、この技術的な進歩は他の研究に応用されれば、さらに多くのことが解明するのではないかと期待だ。

<参考資料>

・中日新聞 朝刊 2019年4月11日版



## 各種大会に挑戦しよう！

～化学グランプリ・物理チャレンジ・生物学オリンピック～

参加メンバーで学習会を数回(去年は4回)開催します。

去年は、化学グランプリでは参加者全員が上位40%に入り、

生物オリンピックでは2名が上位3%以内に入ることができました。



去年の勉強会の様子

### 参加した先輩たちの声

- ・ 思考力を高められるので、今後の生活に活かれます。
- ・ 学習会で、皆で教え合うことでとても勉強になった。
- ・ 友達と話し合って1題1題真剣に取り組めたため、最後まで問題を解くよう頑張れた。
- ・ 受験勉強に役立つ！